

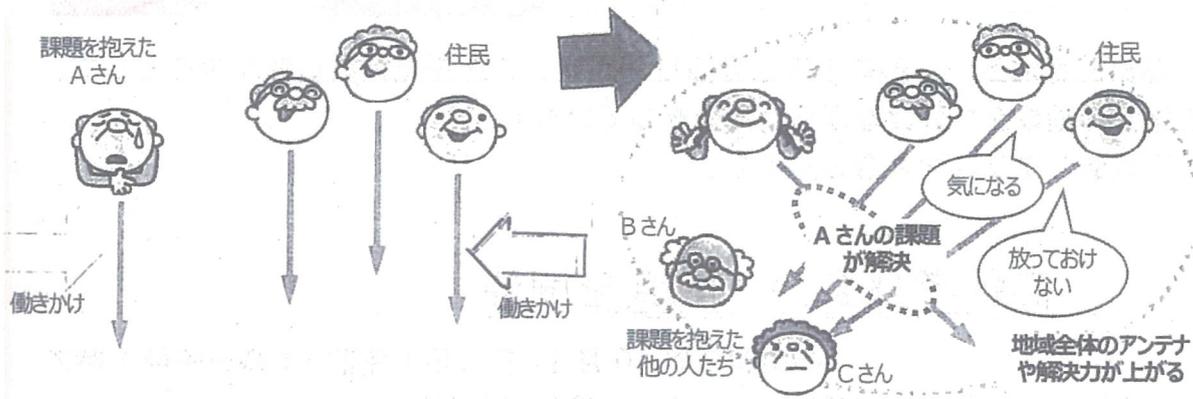
# 潮田西部地区社会福祉協議会

潮田西部地区社会福祉協議会  
発行責任者 細野一明  
編集責任者 大塚重一

## 私たちの目指す「地域支援」「個別支援」について

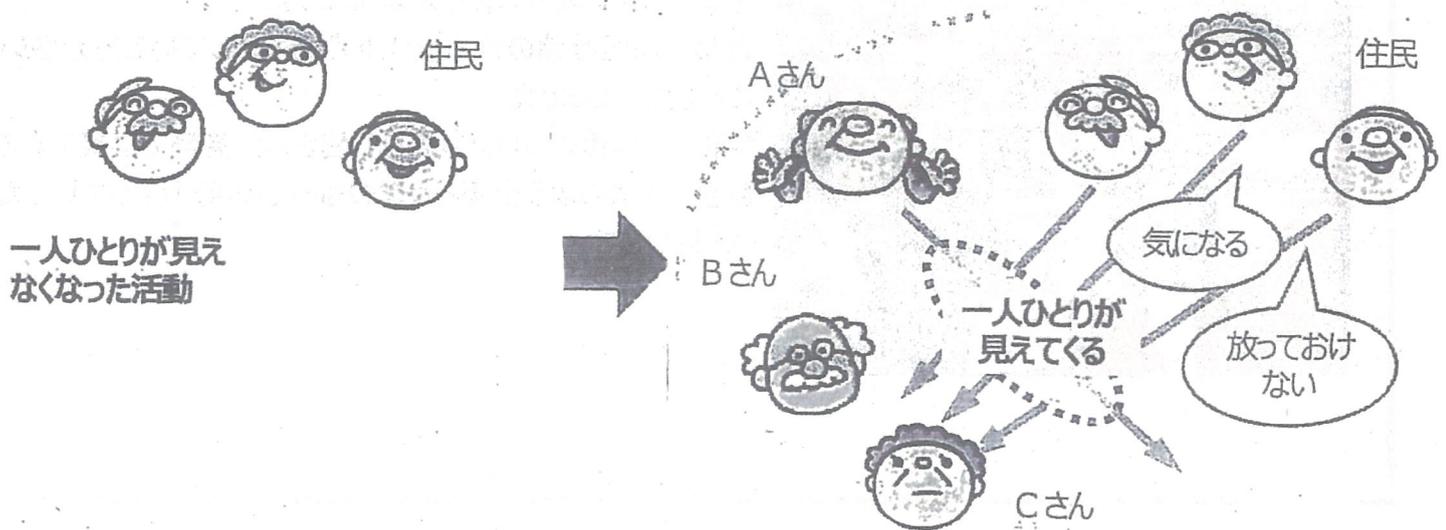
### (1) 個別支援→地域支援

Aさんの課題が地域で共有・解決されると、地住住民はAさんの方に視線を向けたことで、他の課題を抱えたBさんやCさんの存在にも気付き始めます。Aさんとの体験をとおして気づきや解決の力が高まっていったのです。地域住民がAさんの困っていることに気づき、「気になる」「放っておけない」と感じたときから地域の助け合い活動は始まっています。



### (2) 地域支援→個別支援

地域の助け合い活動は、始めは「Aさん」や「Aさんのような人」の事を思っただけで、始まったに違いありません。しかし、長年活動を通るうちにその活動を通ることが目的となり、財源や担い手確保に四苦八苦しているうちに、いつしかAさんの顔も見えなくなってしまうことがあります。また「助け合いの仕組みを作っても相談が来ない」という場合もあります。そんな時には今ある活動が本当に困っている一人ひとりにお届くにはどうしたらよいか？と改めて考えることも大切です。



## おのしおキッズを開催



**おのしおキッズ（潮田西部地区、小野町地区社会福祉協議会）の主任児童委員他が中心として、鶴見区社会福祉協議会の助成金を受けながら、活動をしています。上の写真は、ミニ運動会とクリスマス会の様子です。**

## 高齢者昼食会・配食を開催



令和3年10月17日(日)午前11時～午後1時で夕入小学校体育館で開催しました。  
 コロナ渦で外出を控える高齢者が多く、友人に会う機会も少なくなり合わせて体の機能の衰えを感じるとのご意見もいただき、地区社協として外出・友人に会う機会の機会になればと考え、マスク・消毒はもちろん参加者が密にならないよう分散型にしお弁当の持ち帰りなど感染防止策を行い実施いたしました。  
 昨年度は10月24日(土)夕入公園で開催し50名の参加でしたが、今年は当日があいにくの雨にもかかわらず会場には70名の方が来ていただきました。また、各自治会単位で21名の方に訪問配食と見守りを行い参加総数91名と大盛況でした。  
 改めて地区社協の行事開催を心待ちにしている方が多いことを実感しました。  
 令和4年度がコロナも終息し皆さんが笑顔で談笑できる機会を作れるよう企画・運営のも一層の努力をしていきたいと思ひます。